北海道遺産
Hokkaido Heritage

北海道遺産だより

NPO法人北海道遺産協議会
北海道遺産情報紙 Vol.32
2026（令和8）年7月1日 発行

報告１ ― 2026（令和８）年度通常総会を開催しました

６月29日（月）、赤れんが庁舎２階「赤れんがホールA」にて2026（令和８）年度通常総会を開催し、会場参加32名、オンライン参加18名の、合計50名の皆様にご出席いただきました。

はじめに、2025（令和７）年度の事業報告・収支決算について報告を行い、2026（令和８）年度事業計画（案）、収支予算（案）、役員改選（案）、団体賛助会員の会費区分の見直し（案）についてご審議のうえ、ご承認をいただきました。この度の役員改選により、新役員として、張慶在（じゃんぎょんぜ）理事（北海道大学観光学高等研究センター 教授）、平井健文理事（北海道教育大学函館校地域協働専攻地域政策グループ 講師）、盛田昌彦理事（鹿部町 町長）、佐々木徹監事（株式会社北洋銀行公金・地域産業支援部 特任審議役）が就任しています。

審議事項の他に、2025（令和７）年度の「ほっかいどう遺産WAON」と「お茶で北海道を美しく。」キャンペーンの助成活動について、資料にてご報告しました。全議案の審議終了後、ご出席の皆様から日々の取り組みの紹介や課題について発表いただき、情報を共有いたしました。2026（令和８）年度事業は下記の通りです。





■2026（令和８）年度事業計画■

＜2026（令和８）年度のポイント＞

～ビジョンの策定を通した多くの関係者との思いの共有
～北海道遺産の資源のシェアリングによる地域団体支援の強化
～多様な主体相互の「関わり"しろ"」を活かした事業展開

（１）一般会計部門

◆ **保全活用推進事業**
「お茶で北海道を美しく。」キャンペーン
寄付金による各地域への助成

◆ **地域活動促進支援事業**
「ほっかいどう遺産WAON」寄付金による
各地域への助成
○一般枠事業
○縄文遺産活動支援枠事業
○広域先導モデル枠事業

◆ **法人運営**

（２）特別会計部門

◆ **普及啓発活動事業**
プロモーション基盤整備事業
企業等の提案による「パートナーシップ事業」の試行
○連携事業
a.「縄文まつり2026@八雲噴火湾パノラマパーク」における北海道遺産のPR
b.「なよろナイト」における北海道遺産のPR
c.北海道遺産25周年記念「北海道ヘリテージマンス2026」
d.全道的なプロモーション媒体の制作・活用

◆ **地域活動促進支援事業**
部会運営
企画部会 ／ 事業推進部会 ／ 助成事業等審議部会

報告2 「ほっかいどう遺産WAON」助成活動団体が決まりました

この度も、多くのご応募ありがとうございました。厳正な審査の結果、助成金活動団体として下記の31団体の皆様に決定いたしました。活動の様子はSNS等で随時お知らせします。

団体名	活動の名称	遺産名
鮭の聖地メナシネットワーク	根室海峡沿岸文化遺産広域保存活用推進事業	サケの文化、野付半島と打瀬舟、根釧台地の格子状防風林
一般社団法人札幌大学ウレシパクラブ	アイヌ文化を次世代へつなぐ学習交流合宿「ウレシパ（育てあい）の夏」事業	アイヌ語地名、アイヌ文様、アイヌ口承文芸、サケの文化
森ジャム実行委員会	北海道遺産「しもかわの循環型森林文化」普及啓発事業〜森ジャム×PMF 森と音楽を通じた北海道遺産の魅力発信〜	しもかわの循環型森林文化、パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）
公益財団法人三浦綾子記念文化財団	声つむぎコンテスト	三浦綾子記念文学館と外国樹種見本林、旭川家具、空知の炭鉱関連施設と生活文化、土の博物館「土の館」
函館市	縄文世界遺産登録５周年記念 －函館の縄文文化の価値と魅力を発信－	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群
伊達武者まつり実行委員会	第50回伊達武者まつりにおける「内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群」普及啓発事業「縄文から続く豊かな伊達 ― 気候風土・歴史・文化を再発見するトークと映像アーカイブ事業 ―」	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群
北の縄文道民会議	縄文雪まつり２０２７〜縄文LOVE大集合	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群、オホーツク沿岸の古代遺跡群
縄文DOHNANプロジェクト	世界遺産登録５周年記念縄文時代から続く噴火湾交流事業	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群
NPO法人北海道鉄道文化保存会	小樽の「日本遺産」「北海道遺産」をもっと知りたいツアー	小樽みなとと防波堤、小樽の鉄道遺産
全日本下の句歌留多協会	「下の句かるたの歴史と競技」出前講座事業	下の句かるた
足寄ふるさとラワンぶきまつり実行委員会	足寄ふるさとラワンぶきまつり2026	螺湾ブキ
一般財団法人開陽丸青少年センター	開陽丸資料のオランダ現地調査による魅力向上事業	五稜郭と箱館戦争の遺構
オホーツク・ガリンコタワー株式会社	ガリンコ号を活用した、流氷やオホーツクの自然についての知識普及事業	流氷とガリンコ号
一般社団法人江差歴史文化再生機構	江差追分魅力発信・担い手発掘事業 〜北前文化が育んだ宝物「江差追分」の伝承〜	江差追分
稚内港北防波堤ドーム 竣工90周年記念事業実行委員会	稚内港北防波堤ドーム竣工９０周年記念事業	稚内港北防波堤ドーム
一般社団法人音更町十勝川温泉観光協会	足湯による北海道遺産「モール温泉」のPR事業	モール温泉
仙台藩白老元陣屋活用地域活性化推進協議会	仙台藩白老元陣屋活用地域活性化推進事業	仙台藩白老元陣屋
白老町	北海道遺産仙台藩白老元陣屋魅力向上事業 〜幕末蝦夷地、その物流・交流の探究と発信〜	仙台藩白老元陣屋
北見市	「オホーツクの古代遺跡群」出土品公開活用事業	オホーツク沿岸の古代遺跡群
一般社団法人清水沢プロジェクト	旧北炭清水沢火力発電所100周年記念・アートによる未来への継承事業	空知の炭鉱関連施設と生活文化
北海道遺産のバス旅推進協議会	北海道遺産を訪ねるツアー	松浦武四郎による蝦夷地踏査の足跡、アイヌ文様と文化、オホーツク沿岸の古代遺跡群、流氷とガリンコ号、土の博物館「土の館」
鹿部町、株式会社シカベンチャー	函館バス車体広告によるしかべ間歇泉PR事業	しかべ間歇泉
利尻富士町観光協会	利尻島産「ニシン」や遺産を活用した関係人口創出・拡大事業	利尻島の漁業遺産群と生活文化
特定非営利活動法人増毛山道の会	増毛山道の歴史や遺産の広報・ツアー維持管理活動	増毛山道と濃昼山道
新ひだか町	馬をとおしたふるさと教育推進事業	北海道の馬文化
認定特定非営利活動法人アルテピアッツァびばい	炭鉱遺産「旧美唄市立栄小学校」を次世代へ繋ぐ	空知の炭鉱関連施設と生活文化
一般社団法人石狩シェアハピシティ計画	北海道遺産「サケの文化」の国内外における次世代伝承プロジェクト	サケの文化
いまかね遺産保存活用実行委員会	北海道遺産「美利河砂金採掘跡」ガイド養成・普及啓発事業	今金・美利河の金山遺跡
昭和新山国際雪合戦実行委員会	全天候型ビクトリースロー体験事業	昭和新山国際雪合戦大会
札幌村郷土記念館保存会	大友亀太郎関係資料アーカイブ事業	大友亀太郎の事績と大友堀遺構、開拓使時代の洋風建築
特定非営利活動法人ピアソン会	改訂版　写真集「ピアソン夫妻の足跡」	ピアソン記念館

報告3 「お茶で北海道を美しく。」キャンペーン助成活動団体が決まりました

2026（令和８）年度も、多方面にわたるご応募をいただきました。その中から下記の３団体の助成活動に決定いたしました。活動の様子はSNS等で随時お知らせします。

団体名	活動の名称	遺産名
新ひだか町	静内二十間道路桜並木への桜の植樹活動	静内二十間道路の桜並木
特定非営利活動法人ダウン・ザ・テッシ	第33回北海道遺産天塩川カヌーツーリング大会 「ダウン・ザ・テッシ-オ-ペッ 2026 」開催事業	天塩川
特定非営利活動法人 霧多布湿原ナショナルトラスト	①浜中町・霧多布湿原を利用する希少な野鳥に関する 普及啓発活動 ②漁師さんがつくる木工作品展	霧多布湿原

報告4 2025（令和７）年度「お茶で北海道を美しく。」キャンペーンによる寄付目録・感謝状贈呈式の開催と、環境活動への参加





3月26日、北海道庁官民交流サロン「CONNECTこねくと」において、株式会社北海道伊藤園様による2025（令和7）年度「お茶で北海道を美しく。」キャンペーンの寄付目録贈呈式を開催しました。当会に対し、同キャンペーンの売上の一部から80万円をご寄付いただき、小玉会長より感謝状を贈呈しました。

株式会社伊藤園様には、平成22年度から継続して北海道遺産に関わる自然環境保全活動をご支援いただいており、長年にわたり北海道の貴重な地域資源の保全にご協力いただいています。

また、4月18日には北海道遺産「霧多布湿原」に面した琵琶瀬海岸において、伊藤園グループの社会貢献プロジェクト「Green Tea for Good」の一環として、霧多布湿原ナショナルトラストとの共催による海岸清掃活動が実施されました。地域住民や関係者、伊藤園および北海道伊藤園社員の皆様が参加し、海岸の清掃活動を通じて自然環境の保全に取り組みました。

報告5 コラボ企画「北海道遺産を語り合う“ビール”忘年会」を開催しました



サッポロファクトリー内のBREWERY1876において、サッポロビール園主催イベントと連携した「北海道遺産を語り合う“ビール”忘年会」を開催しました。当日は、北海道遺産「札幌苗穂地区の工場・記念館群」のひとつであるサッポロビール博物館の半田輝雄館長と当会の甲谷理事が登壇し、北海道遺産の魅力や価値について紹介しました。参加者はビールや食を楽しみながら理解を深め、交流を通じて北海道遺産を身近に感じていただく機会となりました。

報告6 「第31回武四郎まつり」に出展しました



2月22日（日）、三重県松阪市で開催された「第31回武四郎まつり」に、天塩川シーニックバイウェイルート・道北観光連盟と共同で出展しました。会場では、北海道科学大学・横山研究室の学生の協力を得ながら、天塩川流域市町村の特産品販売や北海道遺産に関するパネル展示を実施しました。北海道遺産の紹介パネルには多くの来場者が足を止め、北海道の歴史や文化、地域の魅力に関心を寄せていただきました。北海道の名付け親として知られる松浦武四郎翁ゆかりの地である松阪市において、北海道遺産や天塩川流域の魅力を広く発信するとともに、北海道と三重県をつなぐ交流の機会となりました。

報告7 「北海道遺産フォト＆短歌チャレンジ2025-2026」入選作品

今年度は10月28日～ 2月28日の募集期間中、フォト部門は209点、短歌部門は646点のご応募をいただきました。力作が並ぶ中、厳正なる審査により、各部門グランプリ1作品、準グランプリ2作品、入選作品15作品を選ばせていただきました。ご応募いただいたみなさまありがとうございました。

フォト部門

グランプリ



「望郷」（北海道の馬文化）
新川　凌央 様

準グランプリ



「光芒に見惚れる」
（野付半島と打瀬舟）
倉田　亮一 様



「港を守り続けて１世紀」
（小樽みなとと防波堤）
奥谷　忠浩 様

短歌部門

グランプリ

金棒を引きずりながら赤鬼が描く魔法陣
きみにあいたい
空木洞 様（登別温泉地獄谷）

準グランプリ

七月の終わりでも歯が合わぬ地で
ずっと夕焼ばかり見ていた
伊都 様（霧多布湿原）

「地球儀のどのへんだろう」
ガリゴリと流氷削り進む僕らは
仲川　暁実 様（流氷とガリンコ号）

事務局だより

事務局から 北海道遺産25周年記念「北海道ヘリテージマンス2026」を開催

2026（令和8）年に北海道遺産の第１回選定から25周年を迎えることを記念し、10月13日～11月13日の期間を「北海道ヘリテージマンス2026」として様々な事業を展開いたします。11月３日（火・祝）はチ・カ・ホを会場に、メインイベントを実施。展示やステージイベントを行うとともに、物販等のブース出展者を近日募集開始いたします。同時に、7月にバリューアップオープンしたサッポロビール博物館での連携イベントも実施予定です。また、期間中に各地で開催される北海道遺産関連のイベント情報をウェブページやSNSにてご紹介いたします。ぜひ広報素材とあわせてお知らせください。



2024年度開催時の様子

NPO法人 北海道遺産協議会
〒060-0041　北海道札幌市中央区大通東２丁目３番地１ 第36桂和ビル７階
（札幌市営交通地下鉄東西線バスセンター前駅・５番出口直結）
TEL：011-218-2858　FAX：011-232-4918　E-mail：info@hokkaidoisan.org

北海道遺産
公式ホームページ